

MODBUS-RTU



AEAシリーズ (-I4オプション) MODBUS通信マニュアル

AEA series ---MODBUS-RTU---

	Page
1. 概要	1
2. 配線・接続方法	1
2.1 AEAシリーズの通信端子	1
2.2 接続方法	2
2.3 通信アドレスの設定	2
3. 通信仕様	3
3.1 電気仕様	3
3.2 伝送仕様	3
3.3 プロトコル仕様	3
4. 通信プロトコル	4
4.1 通信プロトコル	4
4.2 メッセージフレームの構成	5
4.3 FC: 4 Input レジスタRead	6
4.4 FC: 3 Holding レジスタRead	7
4.5 FC: 6 Holding レジスタWrite	9
5. MODBUS-RTU レジスタ一覧	11
5.1 Inputレジスタ一覧	11
5.2 Holdingレジスタ一覧	12
6. レジスタの詳細	13
6.1 Inputレジスタ詳細	13
6.2 Holdingレジスタ詳細	19
A. 改訂履歴	A-1

注) 本資料に記載されている内容は本資料発行時点のものであり、製品の仕様変更および改良などのために予告なく変更することがあります。最新版はコーセルのホームページをご確認ください。

本資料の内容につきましては、正確さを期するために万全の注意を払っておりますが、本資料中の誤記や情報の抜け、あるいは情報の使用に起因する間接障害を含むいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

1. 概要

本製品（-I4オプション）はMODBUS-RTU通信によって電源動作状態のモニタリングや各種設定値の変更が可能です。また、各種設定値を、本体内部の不揮発メモリに保存することで、入力電圧を遮断しても保持することが可能です。

通信線の電源はAUX2から供給しています。よってAUX2が停止する異常が発生した場合、通信できなくなります。

2. 配線・接続方法

2.1 AEAシリーズの通信端子

通信端子名及び機能を表2.1に示します。

表2.1 CN4 通信端子機能

端子番号	端子名	機能
1	N.C.	無接続
2	N.C.	無接続
3	SGND	信号グランド (AUX2Gと同電位)
4	SGND	信号グランド (AUX2Gと同電位)
5	B	差動信号 (-、反転)
6	B	差動信号 (-、反転)
7	A	差動信号 (+、非反転)
8	A	差動信号 (+、非反転)

N.C.端子には、何も接続しないこと

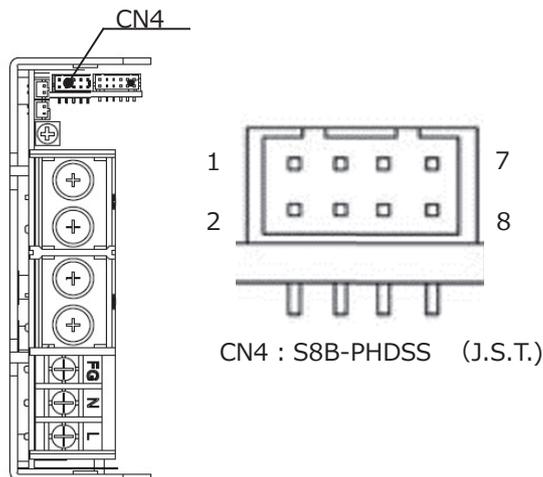


図2.1 -I4仕様の例(AEA600F)

表2.2 適用ハウジング(ターミナル)

コネクタ	ハウジング	ターミナル	メーカー	
CN4	S8B-PHDSS	PHDR-08VS	連鎖状 : SPHD-001T-P0.5	J.S.T.
			SPHD-002T-P0.5	
バラ状 : BPHD-001T-P0.5 ※1				
BPHD-002T-P0.5 ※1				

※1 手動工具のみ

2.2 接続方法

図2.2に示すように、マスタ側のA(または+、非反転)端子とAEA側のCN4の7ピンまたは8ピン(A端子)を接続して下さい。マスタ側のB(または-、反転)端子とAEA側のCN4の5ピンまたは6ピン(B端子)を接続して下さい。

使用するケーブルはシールド付きのツイストペア線を推奨します(シールド付きケーブルをご使用の場合はシールドをマスタ側のSG端子と接続してください)。

メーカーにより、マスタ側のA端子とB端子の極性が反転している場合がありますのでご注意ください(非反転端子同士、反転端子同士を接続して下さい)。

終端抵抗はバスラインの両端に 120Ω ($1/2W$)を接続して下さい。マスタ側に終端抵抗が無い場合は、マスタ側のバスラインに終端抵抗を接続して下さい。また、マスタから最も離れた電源のバスラインに終端抵抗を接続して下さい(図2.2)。

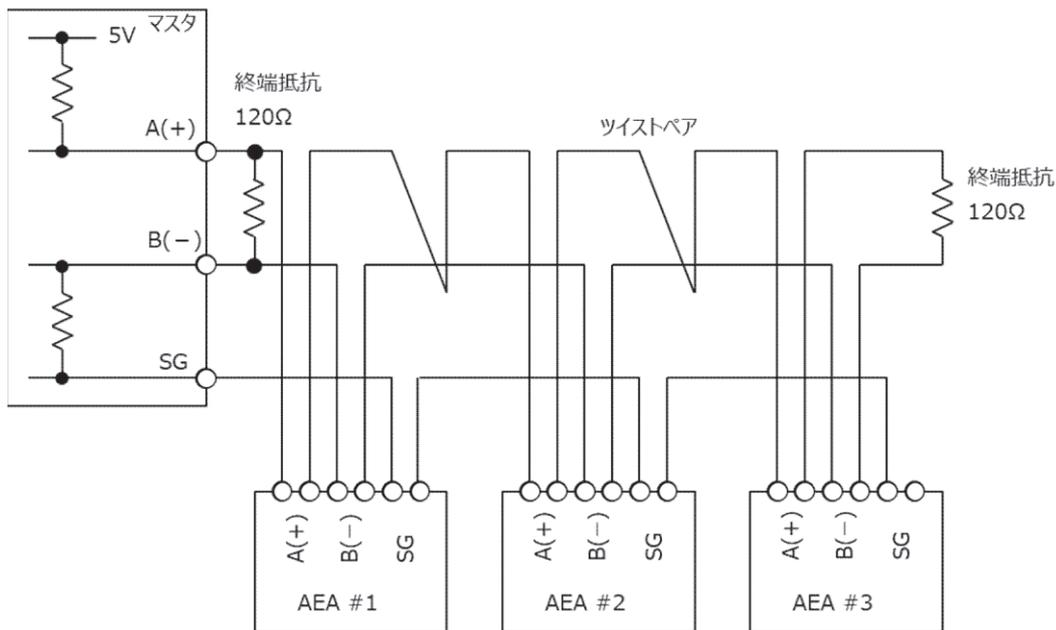


図2.2 複数台接続時の接続例

2.3 通信アドレスの設定

AEAの通信はスレーブとして動作します。スレーブとして他の機器を含め複数台接続する場合は、通信アドレスが重複しないよう設定して下さい。通信アドレスが重複していた場合、マスター機は正しい応答を得られません。

工場出荷時は「1」のアドレスが設定されています。

アドレスの設定を変更する際は、Holdingレジスタ(レジスタアドレス:53)で設定して下さい。また、設定値を保存する操作(Holdingレジスタのレジスタアドレス:51)も行うことで、一度AEAの入力電圧を切断し、再起動した後も、変更したアドレス設定が有効のままとなります。アドレス設定の詳細については「6.2 保持レジスタの詳細」を参照してください。

通信アドレスの「0」はブロードキャスト用に予約されているため、使用することはできません。

3. 通信仕様

3.1 電気仕様

電気仕様を表3.1に示します。

表3.1 電気仕様

項番	項目	仕様
1	電源供給	AUX2より給電 2次側出力 (+Vo/-Vo) とは絶縁
2	トランシーバ電圧	5V
3	伝送規格	TIA/EIA-485
4	総伝送路長	100m以内
5	接続台数	32台max

3.2 伝送仕様

伝送仕様を表3.2に示します。

表3.2 伝送仕様

項番	項目	仕様	
1	通信方式	半二重	
2	同期方式	調歩同期式	
3	接続形態	1 : N (マスタ : スレーブ)	
4	通信速度	19200bps 受信 : ±2%誤差許容	
5	フロー制御	なし	
6	データ形式	データ長	8ビット
7		ストップビット	1ビット
8		パリティ	偶数
9		転送方向	LSBファースト

3.3 プロトコル仕様

プロトコル仕様を表3.3に示します。

表3.3 プロトコル仕様

項番	項目	仕様
1	電文形式	MODBUS-RTU
2	キャラクタ	$T = 11\text{bit}/19200\text{bps} = 572.9\mu\text{sec}$
3	キャラクタ間隔	1.5T以内 (受信時のキャラクタ転送間隔タイムアウト有)
4	電文間隔	7T以上 (4msec以上)
5	応答タイム	Read(FC3,FC4) 最大10msec Write(FC6) 最大30msec (メッセージフレーム終端から応答メッセージ開始まで)
6	Turn around time	30msec 以上
7	マスタ側のユニキャストのタイムアウト時間	60msec 以上

4. 通信プロトコル

4.1 通信プロトコルについて

通信プロトコルは、MODBUS-RTUです。

MODBUSはマスタ/スレーブ（1：N）プロトコルであり、通信は常にマスタによって開始されます。ユニキャスト（個々のスレーブに送信）の場合、マスタからスレーブにメッセージフレームを送信し、指定されたスレーブは、要求された処理が完了後、マスタに応答メッセージを送信します。

スレーブは他のスレーブと通信しません。

スレーブに要求された処理が異常終了した場合、例外応答メッセージを送信します。

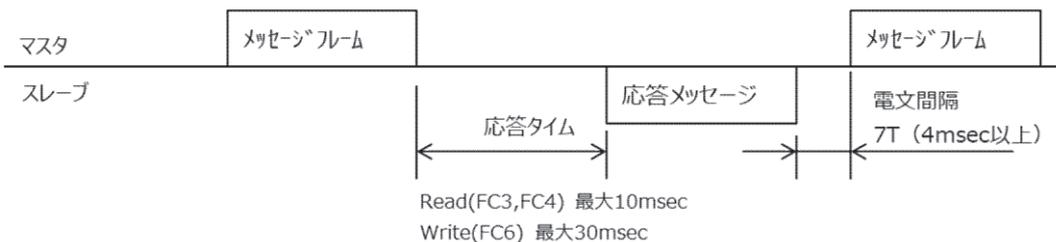
マスタからのメッセージフレームに伝送エラーが発生した場合、スレーブは応答メッセージを返信しません。

この場合、マスタは通信タイムアウトを検出して適切な処理を行ってください。

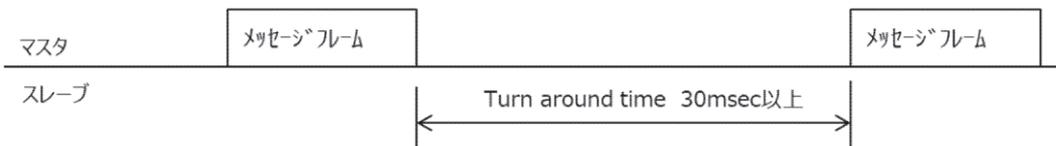
マスターの通信タイムアウトは、スレーブの応答処理時間を考慮し、60ms以上を設定下さい。

ブロードキャスト（全スレーブへの送信）の場合、各スレーブは要求された処理のみを行い、応答メッセージは返信しませんので、マスタは、次のメッセージフレームを送信する場合は、Turn around time(30ms以上)の経過後にメッセージフレームを送信して下さい。

<ユニキャスト>



<ブロードキャスト>



MODBUS プロトコルの詳細な仕様に関しては以下に示すドキュメントを参照ください。

発行元：Modbus Organization(<http://modbus.org/>)

MODBUS APPLICATION PROTOCOL SPECIFICATION V1.1b

MODBUS over Serial Line Specification and Implementation Guide V1.02

4.2 メッセージフレームの構成

数値について

「h」で終わる数値は16進数、「b」で終わる数値は2進数を示します。

「h」や「b」の無い数値は、10進数を示します。

用語

- 通信アドレス : 通信対象となる電源のアドレスを指定する0～247の1バイト
 FC (ファンクションコード) : 3、4、または6を使用
 データ : データフィールド (ビッグエンディアン 上位バイト、下位バイトの順)
 CRCチェック : 通信アドレスからデータまでの16ビット巡回冗長検査
 生成多項式 : A001h
 CRC初期値 : FFFFh
 CRCチェックフィールドのみはリトルエンディアン (下位バイト、上位バイトの順)
 CRCの計算は、MODBUSの仕様書である「MODBUS over Serial Line Specification and Implementation Guide」を参照下さい。

(1) マスタからスレーブへのメッセージフレーム

通信アドレス	FC	データ	CRCチェック
1バイト	1バイト	nバイト	2バイト

(2) スレーブからマスタへの応答メッセージフレーム

通信アドレス	FC	データ	CRCチェック
1バイト	1バイト	nバイト	2バイト

FCはマスタからのメッセージフレームのFCと同じ値となります。

(3) 例外応答時のメッセージフレーム

通信アドレス	FC	データ	CRCチェック
1バイト	1バイト	1バイト	2バイト

FCは、マスタからのメッセージFCに80hが加わった値となります。

データは例外の内容を示す1バイトの例外応答コードとなります。

表4.1 例外応答コード一覧

コード	例外名称	例外内容
1	ILLEGAL FUNCTION	未サポートのファンクションコード (FC:3,4,6以外)
2	ILLEGAL DATA ADDRESS	未定義のレジスタアドレス
3	ILLEGAL DATA VALUE	不正なデータ
4	SLAVE DEVICE FAILURE	スレーブデバイス異常 ※1

※1 例外応答コード4の返信があった場合でも、送信した設定値が適用されている場合があります。

4.3 FC:4 InputレジスタRead

Inputレジスタからレジスタの内容を読み込みます。ブロードキャストは無効になります。

(1) マスタからスレーブへのメッセージフレーム

フィールド	通信アドレス	FC	開始レジスタアドレス	レジスタ数	CRCチェック	
バイト数	1バイト	1バイト	2バイト	2バイト	2バイト	
フィールド値	1~247(F7h)	4(04h)	レジスタ一覧参照	1~16(0010h)	LSB	MSB

開始レジスタアドレス：読み出し始めるレジスタアドレスを指定します。

レジスタ数：開始レジスタアドレスから読み込みを行うレジスタ数を指定します。

開始レジスタアドレスとレジスタ数を指定することで、Inputレジスタから連続したレジスタ値を読み出すことができます。

Inputレジスタ一覧に無いレジスタアドレスを指定すると例外応答(例外コード：02h)が返ります。

メッセージフレームの合計が8バイトではない場合、例外応答(例外コード：03h)が返ります。

(2) スレーブからマスタへの応答メッセージフレーム

フィールド	通信アドレス	FC	バイト数	レジスタ値	CRCチェック	
バイト数	1バイト	1バイト	1バイト	2×N バイト	2バイト	
フィールド値	1~247(F7h)	4(04h)	2×N	リードデータ	LSB	MSB

N:マスタからスレーブへのメッセージフレームで指定したレジスタ数

バイト数：応答メッセージのレジスタ値のバイト数が返ります。

レジスタ値：マスタからスレーブへのメッセージフレームで指定した開始レジスタアドレスから指定したレジスタ数分のレジスタ値が返ります。

(3) 例外応答時のメッセージフレーム

フィールド	通信アドレス	FC	例外コード	CRCチェック	
バイト数	1バイト	1バイト	1バイト	2バイト	
フィールド値	1~247(F7h)	132(84h)	表4.1 参照	LSB	MSB

FC：FCコード「4(04h)」に「128(80h)」を加えた「132(84h)」が返ります。

例外コード：処理中に検出されたエラー理由を示す例外コードが返ります。

(例外コードは表4.1参照)

(4) メッセージ例

通信アドレス : 1(01h) 開始レジスタアドレス : 2(02h) レジスタ数 : 1(01h)

マスタからスレーブへのメッセージフレーム

メッセージ フレーム	通信 アドレス	FC	開始アドレス		レジスタ数		CRCチェック	
			上位	下位	上位	下位	下位	上位
	1 (01h)	4 (04h)	0 (00h)	2 (02h)	0 (00h)	1 (01h)	144 (90h)	10 (0Ah)

スレーブからマスタへの応答メッセージフレーム

応答 メッセージ	通信 アドレス	FC	バイト数	レジスタ値		CRCチェック	
				上位	下位	下位	上位
	1 (01h)	4 (04h)	2 (02h)	39 (27h)	18 (12h)	34 (22h)	205 (CDh)

マスタからスレーブへのメッセージフレームのレジスタアドレス「2(02h)」は、入力電圧のモニタ値であり、応答メッセージのレジスタ値は、

$$2712h = 10002 \rightarrow 100.02V$$

と読み解くことができます。

4.4 FC : 3 Holdingレジスタ Read

Holdingレジスタからレジスタの内容を読み込みます。ブロードキャストは無効になります。

(1) マスタからスレーブへのメッセージフレーム

フィールド	通信アドレス	FC	開始レジスタアドレス	レジスタ数	CRCチェック	
バイト数	1バイト	1バイト	2バイト	2バイト	2バイト	
フィールド値	1~247(F7h)	3(03h)	レジスタ一覧参照	1~4(0004h)	LSB	MSB

開始レジスタアドレス : 読み出し始めるレジスタアドレスを指定します。

レジスタ数 : 開始レジスタアドレスから読み込みを行うレジスタ数を指定します。

開始レジスタアドレスとレジスタ数を指定することで、Holdingレジスタから連続したレジスタ値を読み出すことができます。

Holdingレジスタ一覧に無いレジスタアドレスを指定すると例外応答(例外コード : 02h)が返ります。

メッセージフレームの合計が8バイトではない場合、例外応答(例外コード : 03h)が返ります。

(2) スレーブからマスタへの応答メッセージフレーム

フィールド	通信アドレス	FC	バイト数	レジスタ値	CRCチェック	
バイト数	1バイト	1バイト	1バイト	2×N バイト	2バイト	
フィールド値	1~247(F7h)	3(03h)	2×N	リードデータ	LSB	MSB

N:マスタからスレーブへのメッセージフレームで指定したレジスタ数

バイト数 : 応答メッセージのレジスタデータのバイト数が返ります。

レジスタ値 : マスタからスレーブへのメッセージフレームで指定した開始レジスタアドレスから指定したレジスタ数分のレジスタ値が返ります。

(3) 例外応答時のメッセージフレーム

フィールド	通信アドレス	FC	例外コード	CRCチェック	
バイト数	1バイト	1バイト	1バイト	2バイト	
フィールド値	1~247(F7h)	131(83h)	表4.1 参照	LSB	MSB

FC : FCコード「03(03h)」に「128(80h)」を加えた「131(83h)」が返ります。

例外コード : 処理中に検出されたエラー理由を示す例外コードが返ります。

(例外コードは表4.1参照)

(4) メッセージ例

通信アドレス : 1(01h) レジスタアドレス : 8(0008h)

マスタからスレーブへのメッセージフレーム

メッセージフレーム	通信アドレス	FC	レジスタアドレス		レジスタ数		CRCチェック	
			上位	下位	上位	下位	下位	上位
	1 (01h)	3 (03h)	0 (00h)	8 (08h)	0 (00h)	1 (01h)	5 (05h)	200 (C8h)

スレーブからマスタへの応答メッセージフレーム

応答メッセージ	通信アドレス	FC	バイト数	レジスタ値		CRCチェック	
				上位	下位	下位	上位
	1 (01h)	3 (03h)	2 (02h)	00 (00h)	240 (F0h)	184 (B8h)	0 (00h)

マスタからスレーブへのメッセージフレームのレジスタアドレス「8(0008h)」は、出力電圧の設定値であり、応答メッセージのレジスタ値から、

00F0h = 240 → 24.0V

と読み解くことができます。

4.5 FC : 6 Holdingレジスタ Write

Holdingレジスタの1レジスタ分の内容を書き込みます。

ブロードキャストは可能です。

(1) マスタからスレーブへのメッセージフレーム

フィールド	通信アドレス	FC	レジスタアドレス	レジスタ値	CRCチェック	
バイト数	1バイト	1バイト	2バイト	2バイト	2バイト	
フィールド値	0~247(F7h)	6(06h)	レジスタ一覧参照	Writeデータ	LSB	MSB

レジスタアドレス : 書き込みを行うHoldingレジスタのアドレスを指定します。

レジスタ値 : レジスタアドレスで指定したHoldingレジスタに書き込むデータを指定します。

Holdingレジスタ一覧に無いレジスタアドレスを指定すると例外応答(例外コード : 02h)が返ります。

レジスタデータが許容範囲外の場合、例外応答(例外コード : 03h)が返ります。

ブロードキャストの場合、応答メッセージは返信しません。

メッセージフレームの合計が8バイトではない場合、例外応答(例外コード : 03h)が返ります。

(2) スレーブからマスタへの応答メッセージフレーム

フィールド	通信アドレス	FC	レジスタアドレス	レジスタ値	CRCチェック	
バイト数	1バイト	1バイト	2バイト	2バイト	2バイト	
フィールド値	1~247(F7h)	6(06h)	レジスタ一覧参照	Writeデータ	LSB	MSB

レジスタアドレス : マスタからスレーブへのメッセージフレームで指定されたレジスタアドレスが返ります。

レジスタ値 : マスタからスレーブへのメッセージフレームで指定されたレジスタ値が返ります。

(3) 例外応答時のメッセージフレーム

フィールド	通信アドレス	FC	例外コード	CRCチェック	
バイト数	1バイト	1バイト	1バイト	2バイト	
フィールド値	1~247(F7h)	134(86h)	表4.1 参照	LSB	MSB

FC : FCコード「06(06h)」に「128(80h)」を加えた「134(86h)」が返ります。

例外コード : 処理中に検出されたエラー理由を示す例外コードが返ります。

(例外コードは表4.1参照)

(4) メッセージ例

通信アドレス : 1(01h) レジスタアドレス : 16(0010h) レジスタデータ : 1200(04B0h)

マスタからスレーブへのメッセージフレーム

メッセージ フレーム	通信 アドレス	FC	レジスタアドレス		レジスタ値		CRCチェック	
			上位	下位	上位	下位	下位	上位
	1 (01h)	6 (06h)	0 (00h)	16 (10h)	4 (04h)	176 (B0h)	139 (8Bh)	123 (7Bh)

スレーブからマスタへの応答メッセージフレーム

メッセージ フレーム	通信 アドレス	FC	レジスタアドレス		レジスタ値		CRCチェック	
			上位	下位	上位	下位	下位	上位
	1 (01h)	6 (06h)	0 (00h)	16 (10h)	4 (04h)	176 (B0h)	139 (8Bh)	123 (7Bh)

応答メッセージは、同じメッセージをマスタに返します。

5. MODBUSレジスタ

5.1 Inputレジスタ一覧

Inputレジスタは、リードオンリーの16ビットデータレジスタです。

ブロードキャストは無効です。

表5.1に示した開始アドレス以外を指定した場合、例外応答（例外コード:2）となります。

Inputレジスタで連続して読み込めるレジスタの最大数は「16」です。

表5.1 Inputレジスタ一覧

項番	Inputレジスタ	開始アドレス	レジスタ数	内容
1	出力電圧モニタ	0 (0000h)	1	出力電圧のモニタ値を示します
2	入力電圧モニタ	2 (0002h)	1	入力電圧のモニタ値を示します
3	累積出力時間	8 (0008h)	3	累積出力時間を示します
4	累積入力時間	11 (000Bh)	3	累積入力電圧印加時間を示します
5	停止原因	16 (0010h)	1	電源が停止した原因を示すコードを示します
6	停止履歴	17 (0011h)	1	直前に電源が停止した原因を示すコードを示します
7	アラーム出力	32 (0020h)	1	アラームの状態とリモコンの状態を示します
8	製品ロットナンバー	45 (002Dh)	2	製品ロットナンバーを示します
9	機種情報	48 (0030h)	16	ASCIIコードで製品名を示します

5.2 Holdingレジスタ一覧

Holdingレジスタは、リード・ライト可能な16ビットデータレジスタです。

FC=3(リード)の場合、ブロードキャストは無効です。

主に電源の設定値データを配置しています。電源の入力遮断後、設定値はクリアされますので、設定値を保持したい場合は、項番12のレジスタアドレス51(0033h)への書き込みをして下さい。

表5.2に示したレジスタアドレス以外の値を指定した場合、例外応答(例外コード:2)となります。

Holdingレジスタで連続して読み込めるレジスタの最大数は「4」です。

表5.2 Holdingレジスタ一覧

項番	Holdingレジスタ	レジスタアドレス	レジスタ数	反映タイミング※	内容
1	リモートコントロール	0 (0000h)	1	receive	通信により電源出力のON/OFFを制御します
2	ラッチ停止解除	1 (0001h)	1	receive	ラッチ停止状態を解除します
3	出力電圧設定値	8 (0008h)	1	receive	出力電圧値を設定します
4	入力投入起動遅延設定値	16 (0010h)	1	reboot	入力投入からの起動遅延時間を設定します
5	RC端子起動遅延設定値	17 (0011h)	1	receive	RC端子起動操作からの遅延時間を設定します
6	RC端子停止遅延設定値	18 (0012h)	1	receive	RC端子停止操作からの延時間を設定します
7	起動電圧設定値(AC)	19 (0013h)	1	reboot	電源の起動電圧(AC電圧)を設定します
8	停止電圧設定値(AC)	21 (0015h)	1	reboot	電源の停止電圧(AC電圧)を設定します
9	停止モード切替	36 (0024h)	1	receive	各停止モードに対する自動復帰/ラッチ停止を選択します。
10	PRアラーム信号判定値	41 (0029h)	1	reboot	PRアラーム信号の判定値を設定します
11	PGアラーム信号判定値	42 (002Ah)	1	receive	PGアラーム信号の判定値を設定します
12	設定保存	51 (0033h)	1	receive	Holdingレジスタの設定を保存します
13	設定値初期化	52 (0034h)	1	reboot	再起動後、Holdingレジスタの値を工場出荷時の値に戻します
14	通信アドレス	53 (0035h)	1	receive	通信アドレスを設定します
15	書き込み保護モード	54 (0036h)	1	receive	Holdingレジスタへの書き込み保護/解除を選択します

※反映タイミング

receive : 受信したタイミングで電源動作に反映します

reboot : 入力停止から2分以上経過後の再起動時に反映します

6. レジスタの詳細

6.1 Inputレジスタ詳細

レジスタ名	出力電圧モニタ	
開始レジスタ アドレス	0(0000h)	レジスタ数 : 1
レジスタ 機能	出力電圧のモニタ値を示します	
レジスタ値	レジスタ値/10 → 出力電圧[V] 例) 240(00F0h) → 24.0V	
内容 詳細	分解能 : 0.1V 精度 : ±1%FS (Ta=25℃)	

レジスタ名	入力電圧モニタ	
開始レジスタ アドレス	2(0002h)	レジスタ数 : 1
レジスタ 機能	入力電圧のモニタ値を示します	
レジスタ値	レジスタ値/100 → 入力電圧 [Vac] 例) 9800 → 98.00[Vac]	
内容 詳細	分解能 : 0.01 [Vac] 精度 : ±3%FS (Ta=25℃) 入力電圧にひずみのある場合、レジスタ値は精度から外れた値を示すことがあります。	

レジスタ名	累積出力時間	
開始レジスタアドレス	8(0008h)、9(0009h)、10(000Ah)	レジスタ数：3
レジスタ機能	累積出力時間を示します	
レジスタ値	8(0008h) 累積出力時間(時間)の上位16ビット 9(0009h) 累積出力時間(時間)の下位16ビット 10(000Ah) 累積出力時間(分) 例) レジスタアドレス8 : 0001 h → 累積出力時間 82300時間 30分 レジスタアドレス9 : 417C h レジスタアドレス10 : 001E h	
内容詳細	分解能：時間、分 アドレス8(0008h)は累積出力時間の上位16ビット、アドレス9(0009h)は累積出力時間の下位16ビットを示し、上位、下位合わせて32ビットで累積出力時間(単位：時間)を示します。 アドレス10(000Ah)は、分を示し、60分ごとにリセットされ「0」となります。 リモコンOFFなどの出力停止期間は時間の累積は行いません。 入力遮断直前の1分未満の情報は累積されない場合があります。	

レジスタ名	累積入力時間	
開始レジスタアドレス	11(000Bh)、12(000Ch)、13(000Dh)	レジスタ数：3
レジスタ機能	累積入力電圧印加時間を示します	
レジスタ値	11(000Bh) 累積入力時間(時間)の上位16ビット 12(000Ch) 累積入力時間(時間)の下位16ビット 13(000Dh) 累積入力時間(分) 例) レジスタアドレス11 : 0001 h → 累積入力時間 68200時間 45分 レジスタアドレス12 : 0A68 h レジスタアドレス13 : 002Dh	
内容詳細	分解能：時間、分 アドレス11(000Bh)は累積入力時間の上位16ビット、アドレス12(000Ch)は累積入力時間の下位16ビットを示し、上位、下位合わせて32ビットで累積入力時間(単位：時間)を示します。 アドレス13(000Dh)は、分を示し、60分ごとにリセットされ「0」となります。 入力遮断直前の1分未満の情報は累積されない場合があります。	

レジスタ名	停止原因	
開始レジスタ アドレス	16(0010h)	レジスタ数：1
レジスタ 機能	電源が停止した原因を示すコードを示します	
レジスタ値	0 : 停止していません 1 : RC端子操作による停止 2 : 通信による(Holdingレジスタ アドレス0)停止 10、20 : 入力電圧低下による停止 50 : 過電流保護動作による停止 58 : 内部回路異常による停止 62 : ピーク過電流保護動作による停止 101 : 出力過電圧保護動作または過熱保護動作による停止 105 : 過電流保護動作継続による停止 106 : 過熱保護動作による停止	
内容 詳細	・現在の電源の状態を示し、停止していない場合は「0」を示し、停止している場合は、停止原因を示すコードを示します。 ・上記にないコードが表示された場合は、電源故障の可能性があります。	

レジスタ名	停止履歴	
開始レジスタ アドレス	17(0011h)	レジスタ数：1
レジスタ 機能	直近に電源が停止した原因を示すコードを示します	
レジスタ値	0 : 停止していません 1 : RC端子操作による停止 2 : 通信による(Holdingレジスタ アドレス0)停止 10、20 : 入力電圧低下による停止 50 : 過電流保護動作による停止 58 : 内部回路異常による停止 62 : ピーク過電流保護動作による停止 101 : 出力過電圧保護動作または過熱保護動作による停止 105 : 過電流保護動作継続による停止 106 : 過熱保護動作による停止	
内容 詳細	・直近に停止したの電源の停止原因を示すコードを示します。 ・上記にないコードが表示された場合は、電源故障の可能性があります。	

レジスタ名	製品ロットナンバー	
開始レジスタ アドレス	45(002Dh)、46(002Eh)	レジスタ数 : 2
レジスタ 機能	製品ロットナンバーを示します	
レジスタ値	45(002Dh) ロットナンバーの上位16ビット 46(002Eh) ロットナンバーの下位16ビット 例) レジスタアドレス45 : 0015 h → 製品ロットナンバー : 1379470 レジスタアドレス46 : 0C8E h	
内容 詳細	範囲 : 0000000~9539999 アドレス45(002Dh)はロットナンバーの上位16ビット、アドレス46(002Eh)はロットナンバーの下位16ビットを示し、上位、下位合わせて32ビットでロットナンバーを示します。	

レジスタ名	機種情報	
開始レジスタ アドレス	48(0030h)、49(0031h)、50(0032h)、51(0033h)、 52(0034h)、53(0035h)、54(0036h)、55(0037h)、 56(0038h)、57(0039h)、58(003Ah)、59(003Bh)、 60(003Ch)、61(003Dh)、62(003Eh)、63(003Fh)	レジスタ数 : 16
レジスタ 機能	ASCIIコードで製品名を示します	
レジスタ値	<p>48(0030h) : 製品名の1文字目と2文字目のASCIIコード 49(0031h) : 製品名の3文字目と4文字目のASCIIコード 50(0032h) : 製品名の5文字目と6文字目のASCIIコード 51(0033h) : 製品名の7文字目と8文字目のASCIIコード 52(0034h) : 製品名の9文字目と10文字目のASCIIコード 53(0035h) : 製品名の11文字目と12文字目のASCIIコード 54(0036h) : 製品名の13文字目と14文字目のASCIIコード 55(0037h) : 製品名の15文字目と16文字目のASCIIコード 56(0038h) : 製品名の17文字目と18文字目のASCIIコード 57(0039h) : 製品名の19文字目と20文字目のASCIIコード 58(003Ah) : 製品名の21文字目と22文字目のASCIIコード 59(003Bh) : 製品名の23文字目と24文字目のASCIIコード 60(003Ch) : 製品名の25文字目と26文字目のASCIIコード 61(003Dh) : 製品名の27文字目と28文字目のASCIIコード 62(003Eh) : 製品名の29文字目と30文字目のASCIIコード 63(003Fh) : 製品名の31文字目と32文字目のASCIIコード</p> <p>例) AEA600F-24-I4 (ASCII)</p> <p>48(0030h) : 4145h (AE) 49(0031h) : 4136h (A6) 50(0032h) : 3030h (00) 51(0033h) : 462Dh (F-) 52(0034h) : 3234h (24) 53(0035h) : 2D49h (-I) 54(0036h) : 3400h (4) 55(0037h) : 0000h 56(0038h) : 0000h 57(0039h) : 0000h 58(003Ah) : 0000h 59(003Bh) : 0000h 60(003Ch) : 0000h 61(003Dh) : 0000h 62(003Eh) : 0000h 63(003Fh) : 0000h</p>	
内容 詳細	製品名を32文字以内のASCIIコードで示します。 製品名はレジスタアドレス48(0030h)から、ビックエンディアンで配置され、末尾の余りはNULL文字になります。	

6.2 Holdingレジスタ詳細

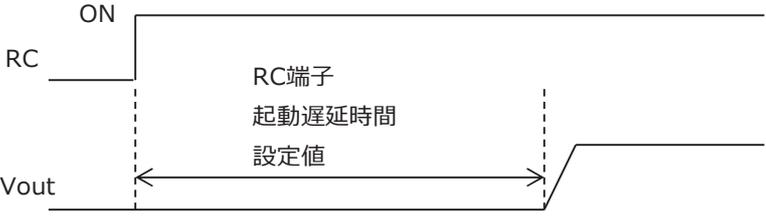
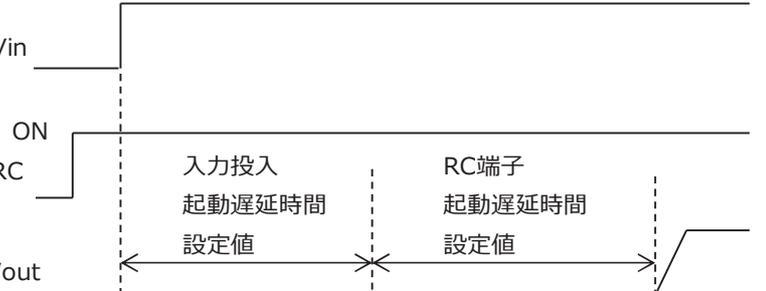
レジスタ名	リモートコントロール																
レジスタアドレス	0(0000h)														レジスタ数：1		
レジスタ機能	通信により電源出力のON/OFFを制御します														反映タイミング：receive		
レジスタ値	桁	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
	初期値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	設定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	X
	X：1 → 出力ONする 0 → 出力OFFする																
内容詳細	RC端子をONにし、かつ、通信による出力設定をONすると電源の出力はONします。 RC端子をOFF、または、通信による出力設定をOFFすると電源の出力はOFFします。 レジスタ値は、電源の出力のON/OFF状態ではなく、通信により設定された値を示します。 以下の場合、例外応答(例外コード:3)を返します。 ・「0(0000h)」と「1(0001h)」以外の書き込みを行った場合																

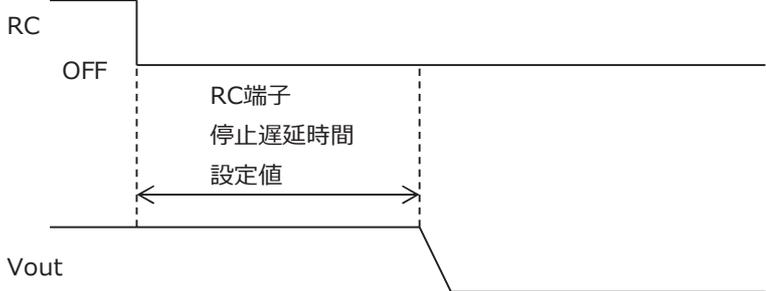
レジスタ名	ラッチ停止解除																
レジスタアドレス	1(0001h)														レジスタ数：1		
レジスタ機能	ラッチ停止状態を解除														反映タイミング：receive		
レジスタ値	桁	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
	初期値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	設定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	X
	X：1 → ラッチ停止状態を解除します。(レジスタ値は「0」に戻ります。)																
内容詳細	ラッチ停止の原因が取り除かれていない場合は再度ラッチ停止します。 以下の場合、例外応答(例外コード:3)を返します。 ・「1(0001h)」以外の書き込みを行った場合 レジスタ値を読み込んだ場合は、固定で「0000 h」を示します。																

レジスタ名	出力電圧設定値																
レジスタ アドレス	8(0008h)														レジスタ数 : 1		
レジスタ 機能	出力電圧値を設定します														反映タイミング : receive		
レジスタ値	桁	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
	初期値	定格出力電圧値															
	設定	出力電圧設定値															
	出力電圧設定値 [V] → レジスタ値 = 出力電圧設定値 × 10 例) 24.5V → 245(00F5h)																
内容 詳細	<p>分解能 : 0.1V 精度 : ± 1%FS (Ta=25℃) 指定範囲 : 定格電圧 ± 11% (AEA600/AEA800) 定格電圧 + 11% ~ -6% (AEA1000)</p> <p>本レジスタを使用する場合、出力可変用の電源の内蔵ボリュームは操作しないで下さい。内蔵ボリュームを操作すると、本レジスタの設定値と出力電圧に差異が発生します。 内蔵ボリュームを操作後、再度、本レジスタで電圧設定を行いたい場合は、以下の手順を行って下さい。</p> <p>①本レジスタ値を定格電圧値に設定する。 ②電源の内蔵ボリュームを操作し、定格電圧の±0.5%以内にセットする。 (ただし、本レジスタによる設定精度は、±2%FS程度となります。)</p> <p>以下の場合、例外応答(例外コード:3)を返します。 ・指定範囲を外れる値の書き込みを行った場合</p>																

For AEA series

レジスタ名	入力投入起動遅延設定値																																																				
レジスタ アドレス	16(0010h)	レジスタ数：1																																																			
レジスタ 機能	入力投入からの起動遅延時間を設定します 反映タイミング：reboot																																																				
レジスタ値	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width:20px;">桁</td> <td>15</td><td>14</td><td>13</td><td>12</td><td>11</td><td>10</td><td>9</td><td>8</td><td>7</td><td>6</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td><td>0</td> </tr> <tr> <td>初期値</td> <td colspan="16">560</td> </tr> <tr> <td>設定</td> <td colspan="16">入力投入起動遅延時間(msec)</td> </tr> </table> <p>例) 1500msec → 1500</p>		桁	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	初期値	560																設定	入力投入起動遅延時間(msec)															
桁	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0																																					
初期値	560																																																				
設定	入力投入起動遅延時間(msec)																																																				
内容 詳細	<p>分解能 : 1msec 精度 : ±2% or ±50msec 指定範囲 : 560~65,000</p> <p>以下の場合、例外応答(例外コード:3)を返します。 ・指定範囲を外れる値の書き込みを行った場合</p> <p>設定保存レジスタ(レジスタアドレス51(0033h))への書き込みと、再起動することで設定が反映されます。 入力電圧が95V以下で起動した場合、指定の遅延時間よりも遅れる場合があります。</p> <div style="text-align: center;"> <p>The diagram shows two signals: Vin and Vout. Vin transitions from low to high. A horizontal arrow labeled '内部遅延時間' (Internal delay time) starts at the rising edge of Vin and ends at a vertical dashed line. From this dashed line, another horizontal arrow labeled '入力投入起動遅延時間 設定値' (Input input start delay set value) extends to a second vertical dashed line. At this second dashed line, Vout transitions from low to high.</p> </div>																																																				

レジスタ名	RC端子起動遅延設定値																																																				
レジスタ アドレス	17(0011H)	レジスタ数：1																																																			
レジスタ 機能	RC端子起動操作からの遅延時間を設定します 反映タイミング：receive																																																				
レジスタ値	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>桁</td> <td>15</td><td>14</td><td>13</td><td>12</td><td>11</td><td>10</td><td>9</td><td>8</td><td>7</td><td>6</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td><td>0</td> </tr> <tr> <td>初期値</td> <td colspan="16">0</td> </tr> <tr> <td>設定</td> <td colspan="16">RC端子起動遅延時間(msec)</td> </tr> </table> <p>例) 50msec → 50</p>		桁	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	初期値	0																設定	RC端子起動遅延時間(msec)															
桁	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0																																					
初期値	0																																																				
設定	RC端子起動遅延時間(msec)																																																				
内容 詳細	<p>分解能 : 1msec 精度 : ±2% or ±10msec 指定範囲 : 0~39、000</p> <p>以下の場合、例外応答(例外コード:3)を返します。 ・指定範囲を外れる値の書き込みを行った場合</p> <p>RC端子起動遅延時間は、RC端子をON、または通信による出力ON(レジスタアドレス「0(0000h)」) 設定時に適用されます。</p>  <p>起動時は、入力投入による起動遅延時間が経過後、RC端子操作による起動遅延時間が適用されます。</p> 																																																				

レジスタ名	RC端子停止遅延設定値																																																				
レジスタ アドレス	18(0012h)	レジスタ数：1																																																			
レジスタ 機能	RC端子停止操作からの遅延時間を設定します 反映タイミング：receive																																																				
レジスタ値	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width:20px;">桁</td> <td>15</td><td>14</td><td>13</td><td>12</td><td>11</td><td>10</td><td>9</td><td>8</td><td>7</td><td>6</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td><td>0</td> </tr> <tr> <td>初期値</td> <td colspan="16">0</td> </tr> <tr> <td>設定</td> <td colspan="16">RC端子停止遅延時間(msec)</td> </tr> </table> <p>例) 50msec → 50</p>		桁	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	初期値	0																設定	RC端子停止遅延時間(msec)															
桁	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0																																					
初期値	0																																																				
設定	RC端子停止遅延時間(msec)																																																				
内容 詳細	<p>分解能 : 1msec 精度 : ±2% or ±10msec 指定範囲 : 0~39,000</p> <p>以下の場合、例外応答(例外コード:3)を返します。 ・指定範囲を外れる値の書き込みを行った場合</p> <p>RC端子停止遅延時間は、RC端子をOFF、または通信による出力OFF(レジスタアドレス「0(0000h)」) 設定時に適用されます。</p> 																																																				

レジスタ名	起動電圧設定値(AC)																																																				
レジスタ アドレス	19(0013h)	レジスタ数：1																																																			
レジスタ 機能	電源の起動電圧(AC電圧)を設定します	反映タイミング：reboot																																																			
レジスタ値	<table border="1"> <tr> <td>桁</td> <td>15</td><td>14</td><td>13</td><td>12</td><td>11</td><td>10</td><td>9</td><td>8</td><td>7</td><td>6</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td><td>0</td> </tr> <tr> <td>初期値</td> <td colspan="16">80</td> </tr> <tr> <td>設定</td> <td colspan="16">起動電圧設定値</td> </tr> </table> <p>例) 100V → 100</p>		桁	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	初期値	80																設定	起動電圧設定値															
桁	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0																																					
初期値	80																																																				
設定	起動電圧設定値																																																				
内容 詳細	<p>分解能 : 1V 精度 : ±3%FS(Ta=25°C) 指定範囲 : AC80V~AC240V</p> <p>以下の場合、例外応答(例外コード:3)を返します。 ・指定範囲を外れる値の書き込みを行った場合 ・停止電圧設定値 + 5Vより低い値の書き込みを行った場合 ・PRアラームの判定値より低い値の書き込みを行った場合</p> <p>設定保存レジスタ(レジスタアドレス51(0033h))への書き込みと、再起動することで設定が反映されます。 入力波形が歪んでいる場合、起動電圧と設定値に差異が生じる可能性があります。 PRアラーム信号判定値は本レジスタによって変更されないため個別に設定して下さい。</p>																																																				

レジスタ名	停止電圧設定値(AC)																																																				
レジスタ アドレス	21(0015h)	レジスタ数：1																																																			
レジスタ 機能	電源の停止電圧(AC電圧)を設定します	反映タイミング：reboot																																																			
レジスタ値	<table border="1"> <tr> <td>桁</td> <td>15</td><td>14</td><td>13</td><td>12</td><td>11</td><td>10</td><td>9</td><td>8</td><td>7</td><td>6</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td><td>0</td> </tr> <tr> <td>初期値</td> <td colspan="16">74</td> </tr> <tr> <td>設定</td> <td colspan="16">停止電圧設定値</td> </tr> </table> <p>例) 100V → 100</p>		桁	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	初期値	74																設定	停止電圧設定値															
桁	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0																																					
初期値	74																																																				
設定	停止電圧設定値																																																				
内容 詳細	<p>分解能 : 1V 精度 : ±3%FS(Ta=25°C) 指定範囲 : AC74V~AC200V</p> <p>以下の場合、例外応答(例外コード:3)を返します。 ・指定範囲を外れる値の書き込みを行った場合 ・起動電圧設定値 - 5Vより高い値の書き込みを行った場合</p> <p>設定保存レジスタ(レジスタアドレス51(0033h))への書き込みと、再起動することで設定が反映されます。 入力波形が歪んでいる場合、停止電圧と設定値に差異が生じる可能性があります。</p>																																																				

レジスタ名	停止モード切替	
レジスタ アドレス	36(0024h)	レジスタ数：1
レジスタ 機能	各停止モードに対する自動復帰/ラッチ停止を選択します。 反映タイミング：receive	
レジスタ値	<p>初期値 0 0 0 0 0 0 0 1 1 1 0 0 0 0 0 0 b</p> <p>設定 0 0 0 0 0 0 0 X X X X X 0 0 0 0</p> <p>X : 1 → ラッチ停止 0 → 自動復帰</p>	
内容 詳細	<p>以下の場合、例外応答(例外コード:3)を返します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定範囲を外れる値の書き込みを行った場合 <p>ラッチ停止中に、ラッチ停止として設定した機能を自動復帰に変更した場合、ラッチ停止が解除されます。</p>	

レジスタ名	PRアラーム信号判定値																
レジスタ アドレス	41(0029h)												レジスタ数：1				
レジスタ 機能	PRアラーム信号の判定値を設定します												反映タイミング：reboot				
レジスタ値	桁	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
	初期値	74															
	設定	PRアラーム信号判定値															
	例) 100V → 100																
内容 詳細	分解能 : 1V 精度 : ±3%FS(Ta=25°C) 指定範囲 : AC74V~AC200V 入力電圧がPRアラーム判定値より低い状態が継続するとPRアラームを出力します。 入力電圧が起動電圧設定値より高い状態が継続するとPRアラームを解除します。 以下の場合、例外応答(例外コード:3)を返します。 ・指定範囲を外れる値の書き込みを行った場合 ・起動電圧設定値以上の書き込みを行った場合																
	設定保存レジスタ(レジスタアドレス51(0033h))への書き込みと、再起動することで設定が反映されます。 起動電圧設定値は、本レジスタによって変更されないため、個別に設定して下さい。 入力波形が歪んでいる場合、PRアラーム動作電圧と判定値に差異が生じる可能性があります。																

レジスタ名	PGアラーム信号判定値																
レジスタ アドレス	42(002Ah)														レジスタ数：1		
レジスタ 機能	PGアラーム信号の判定値を設定します															反映タイミング：receive	
レジスタ値	桁	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
	初期値	定格出力電圧の60%															
	設定	PGアラーム信号判定値															
<p>PGアラーム判定値[V] → レジスタ値 = 設定値 × 10 例) 30.0V → 300(012Ch)</p>																	
内容 詳細	分解能 : 0.1V 精度 : ±1%FS(Ta=25°C) 指定範囲 : 定格電圧の60%~定格電圧の100%																
	出力電圧がPGアラーム判定値より低い状態が継続するとPGアラームを出力します。 出力電圧がPGアラーム判定値 + 5%より高い状態が継続するとPGアラームを解除します。 以下の場合、例外応答(例外コード:3)を返します。 ・指定範囲を外れる値の書き込みを行った場合																

レジスタ名	設定保存																
レジスタ アドレス	51(0033h)														レジスタ数：1		
レジスタ 機能	Holdingレジスタの設定を保存します															反映タイミング：receive	
レジスタ値	桁	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
	初期値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	設定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<p>X : 1 → Holdingレジスタの値を保存します。(レジスタ値は「0」に戻ります。)</p>																	
内容 詳細	本レジスタ及び設定値初期化レジスタ(レジスタアドレス「52(0034h)」)は、5秒以内に連続送信しないで下さい。また、本レジスタ送信後、5秒間は入力を遮断しないで下さい。不揮発メモリへ保存されない場合があります。 以下の場合、例外応答(例外コード:3)を返します。 ・「1(0001h)」以外の書き込みを行った場合																
	レジスタ値を読み込んだ場合は、固定で「0000 h」を示します。 次回起動時は保存した設定を読み込みます。																

レジスタ名	設定値初期化																																																				
レジスタ アドレス	52(0034h)	レジスタ数：1																																																			
レジスタ 機能	再起動後、Holdingレジスタの値を工場出荷時の値に戻します 反映タイミング：reboot																																																				
レジスタ値	<table border="1"> <tr> <td>桁</td> <td>15</td><td>14</td><td>13</td><td>12</td><td>11</td><td>10</td><td>9</td><td>8</td><td>7</td><td>6</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td><td>0</td> </tr> <tr> <td>初期値</td> <td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td> </tr> <tr> <td>設定</td> <td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>X</td> </tr> </table> <p>X：1 → 再起動後、Holdingレジスタの値を工場出荷時の値に戻します。 (レジスタ値は「0」に戻ります。)</p>		桁	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	初期値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	設定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	X
桁	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0																																					
初期値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																					
設定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	X																																					
内容 詳細	<p>本レジスタ及び設定保存レジスタ(レジスタアドレス「51(0033h)」)は、5秒以内に連続送信しないで下さい。また、本レジスタ送信後、5秒間は入力を遮断しないで下さい。不揮発メモリへ保存されない場合があります。</p> <p>以下の場合、例外応答(例外コード:3)を返します。 ・「1(0001h)」以外の書き込みを行った場合</p> <p>レジスタ値を読み込んだ場合は、固定で「0000 h」を示します。</p> <p>次回起動時は工場出荷時の設定を読み込みます。</p> <p>通信線に複数の電源を接続し、本レジスタをブロードキャストすると、次回起動時に通信アドレスが全て「1」となり、通信エラーが発生します。接続されている通信線を取り外し、各電源の通信アドレスが重複しないように設定して下さい。</p>																																																				

レジスタ名	通信アドレス																																																				
レジスタ アドレス	53(0035h)	レジスタ数：1																																																			
レジスタ 機能	通信アドレスを設定します 反映タイミング：receive																																																				
レジスタ値	<table border="1"> <tr> <td>桁</td> <td>15</td><td>14</td><td>13</td><td>12</td><td>11</td><td>10</td><td>9</td><td>8</td><td>7</td><td>6</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td><td>0</td> </tr> <tr> <td>初期値</td> <td colspan="16">1</td> </tr> <tr> <td>設定</td> <td colspan="16">通信アドレス</td> </tr> </table> <p>例) 通信アドレスを7に変更 → 7</p>		桁	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	初期値	1																設定	通信アドレス															
桁	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0																																					
初期値	1																																																				
設定	通信アドレス																																																				
内容 詳細	<p>設定範囲：1～247</p> <p>以下の場合、例外応答(例外コード:3)を返します。 ・指定範囲を外れる値の書き込みを行った場合</p> <p>本レジスタは、誤設定をさけるため、ブロードキャストには対応しません。</p>																																																				

レジスタ名	書き込み保護モード																
レジスタ アドレス	54(0036h)														レジスタ数 : 1		
レジスタ 機能	Holdingレジスタへの書き込み保護/解除を選択します														反映タイミング : receive		
レジスタ値	桁	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
	初期値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	設定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	X
	X : 1 → 書き込み保護にする 0 → 書き込み保護を解除する																
内容 詳細	以下の場合、例外応答(例外コード:3)を返します。 ・「0(0000h)」と「1(0001h)」以外の書き込みを行った場合 以下の場合、例外応答(例外コード:2)を返します。 ・「書き込み保護」状態で、Holdingレジスタに書き込みを行った場合 ただし、本レジスタと「設定保存」、「設定値初期化」レジスタは例外です。																



A. 改訂履歴

項番	改訂日	ver	ページ	内容
1	2024.3.4	1.0J	-	初版発行
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				